

婚姻届の書き方と注意

黒インク又はボールペンで書いてください。
消えるボールペンで書かないでください。

1. お持ちいただくもの

- 婚姻届書および戸籍謄本または戸籍全部事項証明書
- 本人確認ができるもの。(マイナンバーカード・運転免許証・パスポートなど)

2. 届書の枚数と添付書類

- 婚姻届書 1枚

3. 未成年者の婚姻には父母の同意が必要です。

- 同意書を添付するか「その他」欄に署名してください。押印は任意です。
「この婚姻に同意します 父○○ △△
母○○ △△」

4. 住所を変更される方は異動の届(転入届・転居届・世帯変更届)をしてください。

- 他市区町村から転入される方は転出証明書を添付してください。

5. 届出人は夫妻双方です。届出人の作成した届書を持参する方は家族でもかまいませんが、訂正の必要が生じた場合は、ご来庁いただくこともあります。

6. 一方が外国人または外国人同士の場合は取り扱いが異なりますから下記へおたずねください。

お問い合わせは

婚姻届

令和○年○月○日届出

○○市(町・村)長 殿

		夫になる人		妻になる人	
(1)	氏名	甲野 幸男	乙川 福子	旧姓(婚姻前)の戸籍謄本(戸籍全部事項証明書)の字体どおり書いてください。正字、常用漢字になおしたときは「その他」欄に申し出をしてください。	
	生年月日	平成3年6月20日	平成6年3月3日		
(2)	住所	○○県○○市富士見 4丁目2番1号	○○県○○市富士見 4丁目2番1号	婚姻届と同時に住所を移す場合は新住所を書いてください。	
	世帯主の氏名	甲野 幸男	甲野 幸男		
(3)	本籍	○○県○○郡○○町 若葉121番地	○○県○○市松島町 3丁目100番地	戸籍謄本(戸籍全部事項証明書)どおりの本籍地を書いてください。外国人のときは国籍だけ書いてください。	
	筆頭者の氏名	甲野 太郎	乙川 和夫		
	父母及び養父母の氏名	父 甲野 太郎 続柄 長男 母 甲野 良子	父 乙川 和夫 続柄 二女 母 乙川 恵子	夫と妻のそれぞれの「実父母」の氏名を書いてください。夫が養子のとき、妻が養女のときは養親の氏名を「養父」、「養母」欄に書いてください。	
	養父		養父	続柄 養子	
	養母		養母	続柄 養女	
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 新本籍(左の☑の氏の人が入籍の筆頭者となっているときは書かないでください) <input type="checkbox"/> 妻の氏 ○○県○○市富士見4丁目2番地			
(5)	同居を始めたとき	令和3年5月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)			
(6)	初婚・再婚の別	夫 <input checked="" type="checkbox"/> 初婚 <input type="checkbox"/> 再婚 (☐死別 ☐離別) 年 月 日 妻 <input checked="" type="checkbox"/> 初婚 <input type="checkbox"/> 再婚 (☐死別 ☐離別) 年 月 日			
(7)	同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 夫 <input checked="" type="checkbox"/> 妻 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 3. 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
(8)	夫妻の職業	夫の職業 _____ 妻の職業 _____ <small>(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)</small>			
その他					
	届出人署名(※押印は任意)	夫 甲野 幸男 印		妻 乙川 福子 印	
	事件簿番号	住所を定めた年月日		連絡先 電話 ()	
		夫 年 月 日		自宅・勤務先 [] (携帯)	
		妻 年 月 日			
証 人					
	署名(※押印は任意)	丙山 良雄 印		山川 菊夫 印	
	生年月日	昭和43年 1月 15日		昭和47年 4月 20日	
	住所	○○県○○市中央 2丁目5番地18		○○県○○市大手町 100番地	
	本籍	○○県○○市深川 132番地		○○県○○郡○○町 新和町123番地	

旧姓(婚姻前)の戸籍謄本(戸籍全部事項証明書)の字体どおり書いてください。正字、常用漢字になおしたときは「その他」欄に申し出をしてください。

婚姻届と同時に住所を移す場合は新住所を書いてください。

戸籍謄本(戸籍全部事項証明書)どおりの本籍地を書いてください。外国人のときは国籍だけ書いてください。

夫と妻のそれぞれの「実父母」の氏名を書いてください。夫が養子のとき、妻が養女のときは養親の氏名を「養父」、「養母」欄に書いてください。

夫婦は同一の氏を称することになります。夫か妻の氏いずれかを選んでください。氏を称する人が筆頭者でない場合は夫婦について新しい戸籍が作られます。

同居前の夫婦の世帯の仕事を選んで該当する箇所に✓してください。

国勢調査の年のみ記入してください。

婚姻前の氏名で必ず本人が自署してください。押印は任意です。

昼間連絡のとれる電話番号を必ず記入してください。

成年者(令和4年4月より18歳以上)ならだれでもよいですが本人が自署してください。押印は任意です。